

現在の課題と将来を見据えた持続可能なまちづくりを目指します

予算総額802億600万3千円

# 平成29年度 まちづくりの方針と予算

平成29年度は、今後10年のまちづくりの基本となる『総合計画』策定への一歩を踏み出す節目の年です。  
そのため、市民の安全・安心、人口減少、少子高齢化といった目下の課題への対応に加え、将来を見据えた持続可能なまちづくりを目指して、当初予算を編成しました。  
今月の特集では、まちづくりの方針と予算について、重点施策や主な事業などを中心にお知らせします。

## 深谷の輝かしい未来のために！

深谷市長 小島 進



昨年開催されましたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、日本代表選手が数多くのメダルを獲得し、国民に多くの感動を与えてくれました。

中でも、パラリンピックでは、深谷市出身の高桑早生選手が陸上3種目で好成績を残し、私たちに夢や希望、そして元気を与えてくれました。また、高校スポーツ界では、昨年に引き続き、市内の高校が全国大会に出場し活躍するな

どスポーツを通じて元気な深谷を全国にアピールしてくれました。こうしたすばらしい結果や成果は、日々の準備と努力の賜物です。

私も市長就任以来『愛する深谷を元気にしたい』という思いで、市政発展のため、日々準備と努力を重ねてまいりました。私に残された任期も、あと1年足らずとなりました。私がこれまで市政運営に注いできた情熱は、深谷市を良くしたいという気持ちと、次の世

代に引き継ぐまちづくりの基盤を築くことであります。

そして今、市長就任から7年が経過し、そのまちづくりの基盤が整いつつあることを実感しております。そのため、平成29年度を就任2期目の総仕上げの年として締めくくり、次世代につなげるまちづくりを実践すべく、自ら先頭に立って、深谷市の未来を切り拓いてまいります。

計画の最終年度であり、各施策の総仕上げを行うとともに、次の新たな10年の市政運営の指針となる総合計画の策定を進めてまいります。これからの深谷が輝かしい未来へと発展するよう、市民の皆様と共に歩みを進めてまいります。  
(施政方針から抜粋)



## 平成29年度 主な重点施策

### 安心して子どもを育てられる環境をつくります

支給対象者を18歳まで拡大します！

#### こども医療費支給事業

5億3,892万円

子どもの健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減のために、0歳から18歳年度末までの子どもを対象に、医療費の一部負担金を助成します。



支給対象者の拡大は、10月から始まるよ！



#### 3歳児受け入れ・平日長時間預かりなどを実施 ふかやこども園モデル園運営事業

384万円

これまで幼稚園では行っていなかった『3歳児の受け入れ・平日の長時間預かり・長期休業中の預かり』に取り組み、その成果を検証して、幼児教育の振興を図ります。

モデル園は、みらい幼稚園おかべとおかべ幼稚園だよ。この取り組みを検証して、総合的な幼児教育推進策を作るんだ！

みらい幼稚園おかべ・おかべ幼稚園



子育てで孤立しないために

#### 4歳、5歳未就園児家庭訪問事業

83万円

4歳、5歳児のうち、未就園児の家庭を保健師や保育士などが訪問して、養育者が子育てで孤立することがないように、子育ての相談を受けたり、情報提供したりします。



子育てで孤立することを防ぎたいんだ！



### 安全・安心なまちづくりを進めます

#### 消防分署耐震化事業

8,992万円

川本・藤沢・岡部・豊里分署の建て替えを順次実施します。平成29年度は、川本・豊里分署の用地買収、川本・藤沢分署の建設設計を実施します。

分署は消防活動の地域拠点！安全・安心な暮らしに欠かせない場所だね



#### 空家対策事業

78万円

自治会による空き家の実態調査に基づき、『(仮称)空家等対策計画』を策定し、引き続き空き家対策を進めます。

空き家の定期的な状況確認が、安全・安心なまちづくりを支えているんだね！





『総合振興計画後期基本計画』の行政分野別計画ごとに、主な事業を紹介します！



## 平成29年度 主な事業と予算

1 豊かな自然と潤いある環境を守り育てるまちづくり	住宅用省エネ設備設置費補助事業	太陽光発電システムやエネファームなどの設置費用を補助	1,200万円
	ごみ処分関係事業	有害ごみの処分費用、老朽化した資源物置場の新設など	3,730万円
2 安心して健康に暮らせる福祉のまちづくり	母子健康包括支援事業	『子育て世代包括支援センター』を開設し、妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援できる体制を整備	1億1,730万円
	公立学童保育室運営事業	榛沢・上柴西・岡部西学童保育室の施設整備など	4億3,971万円
3 次代を担う人と文化を育むまちづくり	岡部公民館建設事業	地域コミュニティの拠点となる岡部公民館を建設	4億6,029万円
4 便利で機能的な都市づくり	中央土地区画整理事業	深谷駅通り線など、地区内の主要な道路を優先的に整備	6億2,763万円
	橋りょう維持管理事業	市内の道路橋点検および長寿命化に向けた調査・設計、補修	3億1,815万円
5 安全に暮らせるまちづくり	住宅耐震化促進事業	建築士による住宅の耐震診断や、耐震改修などの費用を補助	642万円
	防犯のまちづくり支援事業	地域の防犯パトロールや子どもの見守りを行う自治会・PTAなどの団体活動を支援	707万円
6 活力とにぎわいあふれる産業づくり	産業間連携支援事業	農業者と連携したい商工業者などとのネットワークづくりを推進	184万円
7 参画と交流による市民が主役のまちづくり	自治会活動振興事業	補助対象を拡大し、自治会館の緊急的な空調設備工事や、倒木などを防ぐ危険木の伐採費用にも補助	6,612万円
8 将来を見据えた都市経営	ふるさと納税運営事業	ふるさと納税のお礼品と通信販売を活用した、市の魅力発信のための商品開発の支援など	1億3,439万円
	協働のまちづくり推進事業	クラウドファンディング活用支援や市民活動サポートセンターの運営、市民討議会の実施支援など	226万円

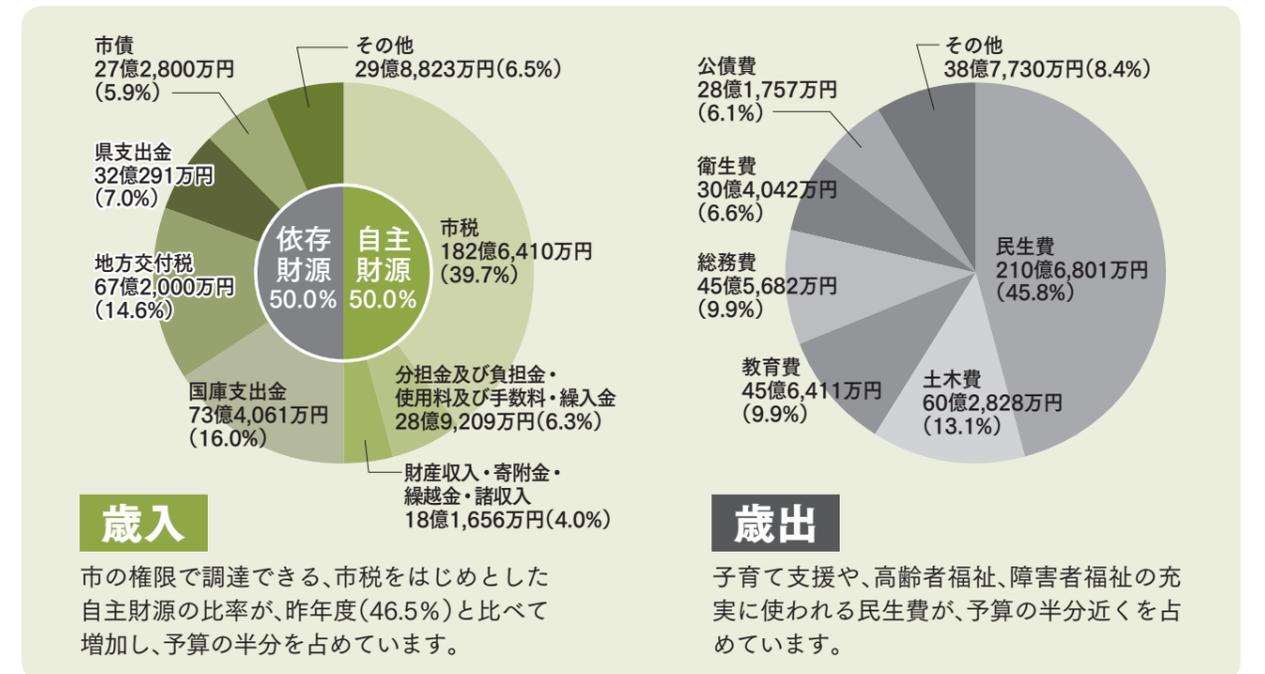


## 平成29年度 予算概要

当初予算額	一般会計	459億5,249万円	(4.5% 減少)
※カッコ内の数値は昨年度からの増減率	特別会計	228億4,828万5千円	(0.9% 増加)
	企業会計	114億 522万8千円	(3.6% 増加)
	総額	802億 600万3千円	(1.9% 減少)

### 一般会計の概要

昨年度と比較して4.5パーセント減少しています。主な要因は、防災行政無線の更新終了や消防通信指令台の入れ替え完了、スマートインターチェンジ整備事業に係る事業費の減少などによるものです。



### 市民1人あたりで計算すると...

市民1人あたり約32万円が使われます。(一般会計予算を4月1日現在の人口144,425人で計算)

子育て・福祉	道路・まちづくり	ごみ処理・環境	市役所運営・防災	その他
<p>子育て支援、高齢者・障害者福祉の充実など</p> <p>約14.6万円</p>	<p>道路や橋の整備・維持管理など</p> <p>約4.2万円</p>	<p>ごみ処理、資源リサイクル、生活環境保全など</p> <p>約2.1万円</p>	<p>住民票や戸籍の交付、防災対策など</p> <p>約3.2万円</p>	<p>教育や消防など</p> <p>約7.8万円</p>